

週刊新社会

3月7日



2017年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

7回目の3・11
原発依存から脱却を

3月議会始まる 市長の初本格予算 市政推進室が鈴木市政の司令塔に

野田市3月議会が1日に開会され、一般議案や補正予算案、新年度各会計予算案など36議案が提案された。今後副市長などの人事案件も予定されている。おさなみ議員は予算委員を務める予定。

議案中主なものを紹介すると、議案6号は、行政組織に「市政推進室」を新設し、秘書・広報広聴業務のうち、秘書業務と市政に関する重要施策を一体的かつ迅速に推進するための部局間の横断的な調整を行う。つまり、市政の市長直属の司令塔を作ろうとするものだ。

議案7号は公契約条例に懸案だった労働団体、使用者、学識経験者からなる「公契約審議会」を置き、公契約上の賃金等を検討する。

議案12号はこれまで市独自の

障がい者福祉サービス事業所だった関宿心身障がい者福祉作業所を障害者総合支援法に基づく多機能型事業所へ移行させるために条例を全面改正するもの。

議案13号は敬老祝い金制度を縮小するもので、現在は「88歳1万円、99歳3万円、100歳以上5万円」だが、「100歳の1回限り3万円」と変える。これは仮に105歳の方はこれまで34万円だったが、3万円だけになるということか。

議案17号は完成した清水第三学童保育所を位置づけるもの。

議案18号は梅郷駅西区画整理事業の進捗に伴い、駅前事務所

表2 一般質問日程

日程	順位	氏名	会派
9日 木	1	古橋敏夫	政清会
	2	椿 博文	公明党
	3	石原義雄	民進連合
	4	織田真理	日本共産党
	5	長南博邦	新社会党
10日 金	6	船橋繁雄	みん清クラブ
	7	小室美枝子	市民ネット
	8	栗原基起	新しい風
	9	谷口早苗	無所属の会
13日 月	10	木名瀬宣人	政清会
	11	滝本恵一	民進連合
	12	星野幸治	日本共産党
	13	邑楽 等	政清会
	14	小椋直樹	民進連合
	15	小俣文宣	政清会

を廃止して本庁内に移すこと。

議案19号から22号は野田市の施設を指定管理者の運営に任せるとして、野田市心身障がい者福祉作業所は野田みどり会、関宿心身障がい者福祉作業所はハートフル、市立花輪保育所は(株)日本保育サービス、郷土博物館と市民会館はNPO野田文化広場をそれぞれ指定管理者とするもの。

表1 今後の議会日程

期 日	開議予定時刻	会議予定	主な会議内容
8日・水	10時	本会議	議案質疑、委員会付託
9日・木	10時	本会議	一般質問
10日・金			
13日・月			
14日・火	10時	環境経済	議案等の審査
	13時	建設	
15日・水	10時	総務	
	13時	文教福祉	
16日・木	10時	予算審査	平成29年度各会計予算案の審査
17日・金		特別委員会	
21日・火		本会議	
24日・金	10時	本会議(閉会)	委員長報告、質疑、討論、採決

陳情で市ホームページが探しやすい

12月議会に提出されて採択された「野田市公式ホームページについて審議会会議資料等の公表ページ」の処理経過が報告された。

審議会等の一覧は五十音順にならば、会議録等のページもわかりや

すくなった。委員会で採択後、議会最終日を待たずに市がスピーディに対応した。

それにあわせて議会ホームページの議員名簿も50音順の名簿を作るが、合議制の議会は変更にかかる。

現在は名簿に電子メールアドレスやホームページサイトも掲載するかどうかで議論中。

おさなみ議員の質問は 4 点 人口対策・小規模特認校・教員の労働時間管理等

おさなみ議員の一般質問は 9 日 (木) の 5 番目 (おそらく 15 時半ごろから) に行われる。その質問事項と趣旨を報告する。

1 市内調整区域のまちづくりについて

- ・調整区域では人口減少が激しく、地域や学校の存続も厳しさを増している。人口減少の認識と今後の見通しについて

- ・人口減少の原因をどう認識しているのか

- ・新総合計画等では当該地域にどのように活力を作る計画か

- ・人口対策として何ができるのか調整区域における定住策としての住宅、交通、公共施設、農業、雇用、買い物拠点などについて伺う

2 小規模特認校について

- ・小規模特認校のこれまでの経緯と効果について

- ・小規模特認校のメリットを引き出すための方法について

3 教員の多忙対策について

- ・部活も含めた長時間労働対策について

- ・事務の削減について

- 校務支援システム導入について

- 小学校の学級事務支援員配置について

4 労働尊重市について

- ・ブラック企業が多くなり、労働者の人権が侵害される中、市が労働

働条件の模範をつくり、使用者の模範となることについて

2 の小規模特認校は福田第二小学校のことで、この 15 年どのような努力と成果があったのが、支援するために教育委員会は何をするのか問う。質問 1 との関連。

3 の教員の多忙化対策は隔週土曜授業の質問を忘れたため、予算委員会ですとだけという。

4 は雇用環境が劣化する中で、法を守り公的責任を発揮すべき行政が、民間等の模範となるような労働条件や、模範的な使用者としてふるまうよう求めるもの。ソウル市の労働行政から学んだもの。

一万円札から福澤諭吉の追放を

「福澤諭吉の一万円札からの追放を」という記事が、『週刊金曜日』2 月 17 日

号に掲載された。筆者は漫画『美味しんぼ』等の漫画原作者、雁屋哲さん。

「天は人の上に人を作らず」の書き出しで始まる『学問のすすめ』で有名な福澤諭吉は、大日本帝国の侵略と軍国主義の先導者だったとの指摘である。

当時の新聞

で最高部数の『時事新報』の社主兼主筆で、日清戦争当時「朝鮮京城の支那兵を皆殺しに」とか、「人の種の尽きるまでも戦う覚悟をもって清国を降伏させなければならぬ」とあおっていたという。

そしてそれは天皇が支配する日本が他国を侵略して領土を拡大する「国権皇張」が、福澤の「大本願」だったと、福澤諭吉の思想と明治政府に対する影響力を明らかにしている。

その福澤を民主主義の先駆者として誤解させたのは、なんと戦後民主主義の巨人、故丸山眞男東大教授。だから 1 万円札に福澤の肖像画を使うのは、戦前を反省せず、その思想を現代に連綿と続かせるので使用をやめると雁屋は主張している。日本の歴史教育の欠陥とはいえ、不勉強でした。



県立中高一貫校に右翼教科書を使わせ、ろくに登庁せず、原稿なしでは答弁できない。全国第 4 位の財政力なのに福祉、医療、教育は全国ワースト級。こんな森田知事を変えなくては、房総半島に春は来ても県民生活はいつまでも冬のま。

写真は柏市で 5 日、希望の政策を語り、歌う角谷信一さん。知事選が 9 日告示、26 日投票で始まる。